

# 凡例（コメント）について

## 1. 凡例（コメント）の種類

Athle32 では略号・記号を凡例リスト（コメント）として登録しています。その内容は、日本陸連が示している記号・略号の他に、各都道府県陸協や団体によって独自で決めているものやシステムで決めているもの、失格理由コメントや理由説明コメントなどがあります。

### ●日本陸連が示しているものの例

スタートリスト・リザルトに用いる略語・略号（主に 132 条 4）

略号	日本語表記	略号	日本語表記
DNS	欠場	qR	審判長等による救済
DNF	途中棄権	qJ	Juryによる救済
NM	記録なし	YC	警告
DQ	失格	YRC	2 回目の警告
r	試技放棄	RC	レッドカードによる失格
Q	順位による通過者		
q	記録による通過者		

記録用紙や電光掲示盤等で用いる略語・略号の例

略号	日本語表記	略号	日本語表記	略号	日本語表記
NWR	世界新記録	NIR	室内日本新記録	NGR	大会新記録
=WR	世界タイ記録	=NI	室内日本タイ記録	=GR	大会タイ記録
WIR	室内世界新記録	NJR	U20 日本新記録		
=IR	室内世界タイ記録	=NJ	U20 日本タイ記録		
WJR	U20 世界新記録	NJI	室内 U20 日本新記録		
=WR	U20 世界タイ記録	=JI	室内 U20 日本タイ記録		
WJI	室内 U20 世界新記録	NYR	U18 日本新記録		
=JI	室内 U20 世界タイ記録	=NY	U18 日本タイ記録		
NNR	日本新記録	NYI	室内 U18 日本新記録		
=NR	日本タイ記録	=YI	室内 U18 日本タイ記録		

NGR, =GR は大会の規模や性格によって NCR, =CR, NMR, =MR などと変化する。

### ●陸協・団体等が独自に決めているものの例

略号	日本語表記	略号	日本語表記
PR	県新記録	NUR	日本学生新記録
=PR	県タイ記録	=UR	日本学生タイ記録
PHR	県高校新記録	NHR	日本高校新記録
=PH	県高校タイ記録	=HR	日本高校タイ記録
PJR	県中学新記録	NJH	日本中学新記録
=PJ	県中学タイ記録	=JH	日本中学タイ記録
NAR	アジア新記録	NIH	日本国内国際高校新記録
=AR	アジアタイ記録	=IH	日本国内国際高校タイ記録

# 凡例（コメント）について

## ●失格理由、説明コメントの例

略号	説明（ルールの条項番号）
FS	不正スタート(R162-7)
*T1	他の競技者を妨害した(R163-2b)
*T2	割り当てられたレーン以外を走った(R163-3a)
*T3	縁石上・内側ライン上又はその内側を走った(歩いた)(R163-3b)
*T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った(R163-5)
*T5	自らの意思でトラックから離脱後にレースを続けようとした(R163-6)
*T6	ハードルを越えなかった(R168-7)
*T7	足又は脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った(R168-7a)
*T8	故意にハードルを倒した(R168-7b)
*T9	他のレーンのハードルを倒した又は著しく移動させた(R168-6)
*T0	録画失敗
*TA	登録外競技者出場
*TB	オーバータイム
*TC	指定外コース走行
*TD	指定外たすき使用
*TE	たすきリレー不正
*TF	水濠前後の縁石からでた(R163-3b)
*TG	全ての障害物・水濠を越えなかった(R169-7)
*TH	水濠の外側に着地した(R169-7a)
*TI	足又は脚が障害物をはみ出して障害物の高さより低い位置を通った(R169-7b)
*R1	テイクオーバーゾーン内でバトパスが完了しなかった(R170-7) 1→2
*R2	テイクオーバーゾーン内でバトパスが完了しなかった(R170-7) 2→3
*R3	テイクオーバーゾーン内でバトパスが完了しなかった(R170-7) 3→4
*R4	次走者待機順序違反(R170-20)
*R5	他のチームのバトを使った・拾い上げた(R170-9)
*R6	テイクオーバーゾーンの外からスタートした(R170-19)
*R7	テイクオーバーゾーンの手前 10m を超えた位置からスタートした(R170-18)
*R8	次走者待機中他の走者を妨害したり押しのけたりした(R170-21)
*R9	バトを手以外で運んだ(R170-6a)
*RA	バトを受け取りやすくした(R170-6b)
*RB	落としたバトを適正に拾わなかった(R170-6c)
*RC	バト受渡し後に故意に他のチームを妨害した(R170-8)
*RD	オダ-不正(R170-10)
*RE	オダ-提出後の不正なオダ-変更(R170-11)
*J1	助力助言(R144-2)
*W1	両・オダ・インタ外で 3 名以上が赤カードを出した(R230-7a)
*W2	ハント・ニーで 3 名以上が赤カードを出した(R230-7a)
*W3	両・オダ・インタ外&ハント・ニーで 3 名以上が赤カードを出した(R230-7a)
*W4	両・オダ・インタ外で競歩主任が単独で失格にした(R230-4a)
*W5	ハント・ニーで競歩主任が単独で失格にした(R230-4a)

ルールの条項番号は 2017 年 4 月現在。

# 凡例（コメント）について

## ● 独自で用意しているものの例

略号	日本語表記
OPN	オープン参加
*DS	ドクターストップ
*JO	順位決定試技による記録
*IH	全国大会出場権獲得
*	規格外の記録
*C1	追風参考(得点非公認) * 混成競技用
*C2	走幅跳セカンドで公認 * 混成競技用
*C3	走幅跳サードで公認 * 混成競技用

このほかコメントは大会の性格等によって自由に追加・変更することができます。

## 2. 凡例（コメント）の登録と変更

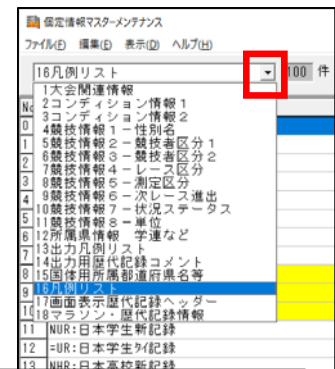
この内容は使用するデータ毎に違っており、競技会データを作成する元にしたバックアップデータ（以前の大会データ）の内容を引き継ぐ形となっています。そのためデータ毎に変更作業が必要となります。

① 凡例リスト（コメント）が登録されている場所と追加修正方法  
固定情報マスターから修正します。

1) トップメニューから【マスターメンテナンス】 - 【3. 固定情報マスター】の順にクリックして開きます。

2) 「▼ボタン（プルダウン）」から「16 凡例リスト」を選択します。  
現在登録されているコメントの一覧が表示されます。

3) 編集したい行を選択すると一番下の入力修正エリアに文字が現れ  
【Enter】キーを押すと内容の修正・登録ができます。  
再度【Enter】キーを押すと確定・登録されます。



### ■ 最大文字数

略号部分：半角 3 桁（3 桁に満たない場合は半角  
スペースで残りの桁を埋めて下さい）

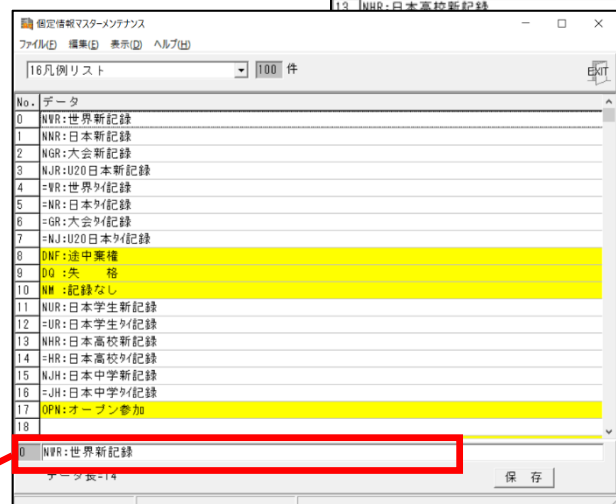
例) 「Q」 → 「Q 」

略号と説明文の境目：必ず半角「:」を登録

説明文：半角最大 72 桁

全角のみの場合は最大 36 文字

4) 編集終了後は画面右下の【保存】ボタンを  
押します。



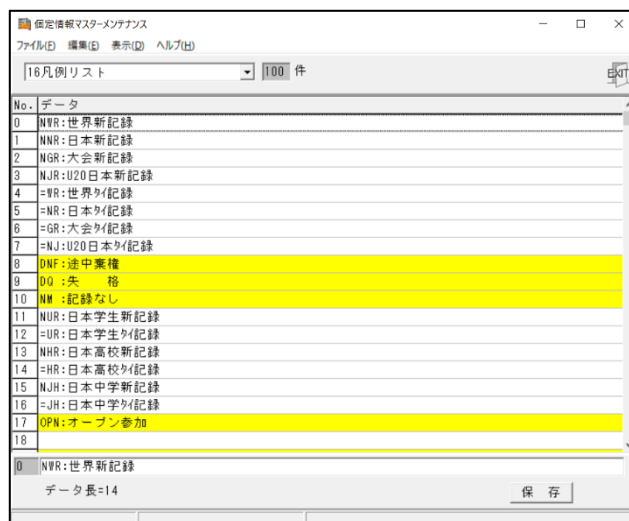
入力修正エリア

# 凡例（コメント）について

②システムで予約されていて変更してはいけないもの

凡例リストの中には、システムで予約（使用）されていて変更してはいけないものがあります。その一覧は以下の通りです。黄色く色付けされている項目がそれに該当します。

No.	内容
8	DNF:途中棄権
9	DQ :失格
10	NM :記録なし
17	OPN:オープン参加
19	DNS:欠場
20	㊦ :なし
86	*oR:他のレースに出場中
87	Q :標準記録突破による通過者
88	Q :順位による通過者
89	q :記録による通過者
90	* :規格外の記録
91	NSR:区間新記録（駅伝）
92	=SR:区間タイ記録（駅伝）
93	DNF:区間未完走（駅伝）
94	DQ :区間走者失格（駅伝）
95	DNS:区間未発走（駅伝）
96	*C3:走幅跳サードで公認（混成）
97	*C2:走幅跳セカンドで公認（混成）
98	*C1:追風参考（得点非公認）（混成）
99	qR:救済および審判長等の決定による通過者,qJ :ジユリーの決定による通過者



※黄色く色付けされた項目がない場合には【マスターメンテナンス】 - 【6. DINST 大会初期設定】を開き、【設定完了】ボタンをクリックすることで作成されます。

③マスターコピーの必要性について

ネットワーク作業中（競技会時サーバーのデータを利用している場合）は必ずマスターコピーが必要となります。ネットワークで使用している場合は必ず「マスターメンテナンス」の「マスターコピー」で固定系のデータをサーバーへアップロードしてください。アップロード後、そのほかのクライアントコンピューターはマスターのダウンロードが必要です。「記録エントリー」または「インフォメーション」のマスターコピー（いずれもダウンロード専用）を使って固定情報をサーバーから取得してください。

マスターコピーを実施したにもかかわらず、新しいコメント等が反映されない場合には一度陸上システムを終了し、再度起動して下さい。

# 凡例（コメント）について

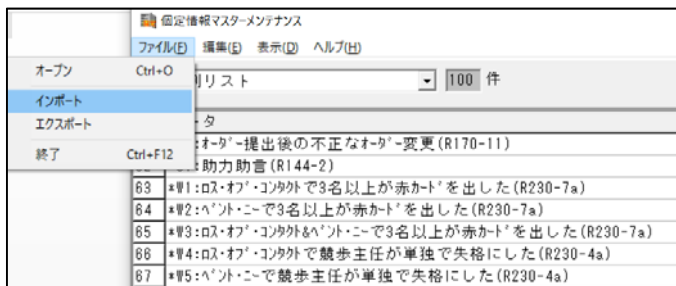
## 3. 更新データの利用

凡例（コメント）についてはマット陸上システム Athle32 公式アップデートサイトにて、毎年4月頃更新版共通データを配布します。このファイルは毎年改正される日本陸連ルールに対応すべく、コメントの見直しを行ったもので、CSV形式のデータとして配布されます。このデータをアップデートサイトからダウンロードし、凡例リストに取り込むことができます。

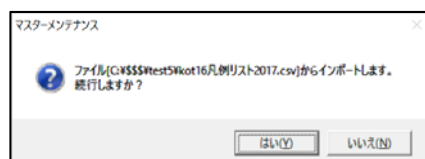
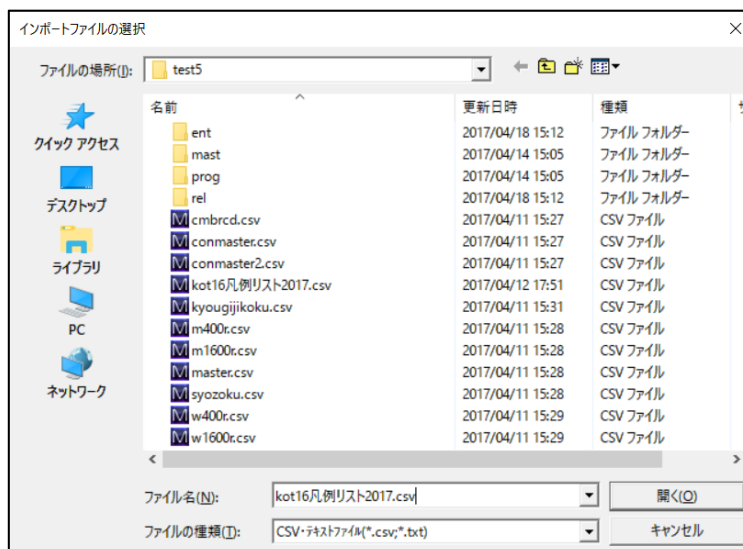
しかしながら、この更新版共通データは、マット社が公式に登録しているコメントのみが入っているファイルとなるため、各陸協・団体等で独自に追加しているコメント（例えば県新記録、県高校新記録など）が入っておらず、読込をするとせっかく登録していた独自作成したコメントが消えてしまいます。そのあたりをご理解いただき使用の判断をお願いいたします。

### ■更新版共通コメントデータ CSV のインポート方法

- 1) アップデートサイトからコメントの最新版データを任意の場所にダウンロードします。
- 2) 【マスターメンテナンス】 - 【3. 固定情報マスター】の順に開きます。
- 3) 【ファイル】 - 【インポート】の順に選択します。



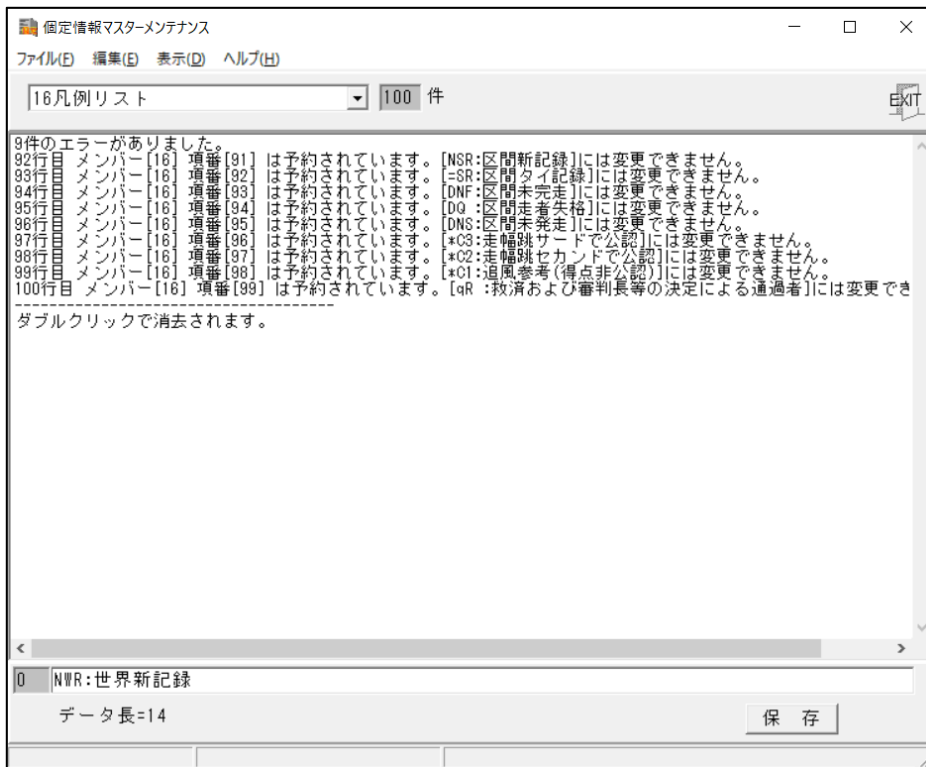
- 4) ファイルを開くウィンドウが表示されたら、1) でダウンロードした更新版ファイルを選択し【開く】をクリックします。  
インポートを続行するかどうかの確認メッセージが表示されたら【はい】をクリックします。



# 凡例（コメント）について

5) インポート結果が表示されます。

「〇件のエラーがありました。」などと表示されますが、予約されている部分について変更できない旨のメッセージが出ているだけです。画面の中央部分でダブルクリックしてインポート結果を消去します。



6) 元の画面に戻ると新しいコメントデータに置き換わっています。